

表 ■九州大学交流事業補助金の対象事業・補助金額

補助メニュー	事業概要	補助率	補助金限度額	
			1年目	2・3年目
①市が指定する事業	ウェルカムワールド事業	10/10	10万円	各5万円
	次世代育成支援事業			
②公募事業	①以外の事業で、九州大学と連携した先進的な取り組みと認められる事業	1/2	5万円	



長崎校区は、インドネシアの留学生と交流

**補助制度の概要**  
この制度は、市民のみなさんが行う九州大学との連携事業のうち、先進的で継続性があると認められるものに補助を行うものです。

対象となるのは、市民10人以上で組織する団体（営利や宗教活動などを目的とした団体を除く）です。補助金の対象事業や補助金額などは、表のとおりです。

「連携や交流をしてみたいけど、相談先が分からぬ」と

## 九州大学交流事業補助金の募集

# あなたのまちづくり活動を応援します

## 九州大学とのさらなる連携をめざして

市では、九州大学との連携事業を今まで以上に促進させるため、市民が九州大学と共同で行う交流事業に対して補助を行います。みなさんもこの制度を使って、九州大学とのつながりを深め、九州大学が近くに来たということを感じましょう。



昨年度に採択された、九大連携“鯉攻め”プロジェクトの様子

●企画・アイデア 提出先問い合わせ  
糸島市学研都市推進課  
☎(332)2064  
FAX(324)2531  
E-mail gakkentoshi@city.itoshima.lg.jp

●企画・アイデア 提出先問い合わせ  
糸島市学研都市推進課  
5月13日(金)まで

●企画・アイデア 提出先問い合わせ  
糸島市学研都市推進課  
5月13日(金)まで

●企画・アイデア 提出先問い合わせ  
糸島市学研都市推進課  
5月13日(金)まで

●企画・アイデア 提出先問い合わせ  
糸島市学研都市推進課  
5月13日(金)まで

待ちしています。

### 応募の方法

待ちしています。

### 事業活用例

この補助金を活用して昨

年度さまざまな連携事業が

行われました。

### ①指定事業《長崎ウェルカム

ワールド事業》

長崎校区では、インドネシ

ア出身の留学生との交流事

課までご相談ください。

### ②公募事業《九大連携“鯉攻

めプロジェクト》

井原行政区では、大学との

交流と農業・農村や伝統文化

の理解を進めるため、伝統行

事である「鯉攻め」を大学生

と一緒に体験する事業を行

いました。

の交流を深めました。

業に取り組んでいます。

親善大使に工学部3年生

のルトフィアナ・サリさんを

任命し、地域や学校行事への

参加や異文化交流など、サリ

さんを中心とした留学生と

の交流を深めました。

の要因になっています。

なぜ、このような状況

なのか分析すると、大き

く3点の要因があげら

れます。

### ①医療提供体制の充実

福岡県は、人口10万人

当たりの病床数、医療機

関数、医師数のすべてが全

国平均を上回っています。

医療にかかりやすい

環境にあるという利点が、

医療費が高額になる一

つの要因になっています。

### ②社会的要因

高齢者を取り巻く環

境も大きな影響を与えてい

ます。福岡県は、75歳以上人

口に占める独り暮らしの割

合(単身率)が、全国平均よ

り高く、また病院以外の場

所で亡くなる人の割合(在

宅等死亡率)は、全国平均を

下回っています。

その他、高齢者の就業率

も全国平均を下回り、この

ような要因が、医療費に影

響を与えています。

### ③生活習慣病などの要因

福岡県は、平均より入院

医療費が高額で、平均在院

日数(入院期間)も長く、疾

病要因として、生活習慣病

の重症化や合併症が多いこ

とが考えられます。

具体的には、高血圧性疾

患や心筋梗塞などの虚血性

心疾患、また、脳梗塞などの

脳血管疾患の人院受療率が

高くなっています。

生活習慣病の重症化、合

併症を予防するためには、

1年に1回は健診を受け、

現在の健康状態を知ること

が重要になりますが、福岡

県では、健診の受診率が低

いという傾向もあります。

### まずは自分の健康管理

健康づくりの第一歩とし

て、みなさんに取り組んで

もらいたいことは、1年に

1回は健診を受診すること。

また、健診結果で生活習慣

改善の必要性がある場合、

できるだけ早く取り組みを

始めてください。

みなさん一人ひと

りの健康づくりへの

取り組みが、最終的に

は市全体を元気にす

ることになるのです。

なお、今年の市の総

合健診について詳し

くは、糸島市健康情報

誌をご覧ください。

## 健診は健康づくりの第一歩



「きららの湯」のプールを使った健康づくり教室

問い合わせ  
糸島市健康づくり課  
(332)2069

具体的には、高血圧性疾患や心筋梗塞などの虚血性心疾患、また、脳梗塞などの脳血管疾患の人院受療率が高くなっています。

生活習慣病の重症化、合併症を予防するためには、1年に1回は健診を受け、現在の健康状態を知ることが重要になりますが、福岡県では、健診の受診率が低いという傾向もあります。

このような要因が複合的につながり、結果、福岡県は一人当たりの高齢者医療費が全国一という状況になります。糸島市でも、生活習慣病の重症化予防の取り組みを強化しています。

そのため、高齢者の就業率も全国平均を下回り、このようないくつかの要因が、医療費に影響を与えています。

なぜ、このような状況

のか分析すると、大きく3点の要因があげられます。

### ①医療提供体制の充実

福岡県は、人口10万人当たりの病床数、医療機関数、医師数のすべてが全國平均を上回っています。

医療にかかりやすい環境にあるという利点があり、医療費が高額になる一つの要因になっています。

### ②社会的要因

高齢者を取り巻く環境も大きな影響を与えてい

ます。福岡県は、75歳以上人口に占める独り暮らしの割合(単身率)が、全国平均より高く、また病院以外の場所で亡くなる人の割合(在宅等死亡率)は、全国平均を下回っています。

その他の高齢者の就業率も全国平均を下回り、このようないくつかの要因が、医療費に影響を与えています。

### ③生活習慣病などの要因

福岡県は、平均より入院医療費が高額で、平均在院日数(入院期間)も長く、疾

病要因として、生活習慣病の重症化や合併症が多いこと

とが考えられます。

具体的には、高血圧性疾

患や心筋梗塞などの虚血性

心疾患、また、脳梗塞などの

脳血管疾患の人院受療率が

高くなっています。

生活習慣病の重症化、合

併症を予防するためには、

1年に1回は健診を受け、

現在の健康状態を知ること

が重要になりますが、福岡

県では、健診の受診率が低

いという傾向もあります。

### まずは自分の健康管理

健康づくりの第一歩とし

て、みなさんに取り組んで

もらいたいことは、1年に

1回は健診を受診すること。

また、健診結果で生活習慣